

I 本校における「総合的な探究の時間」の目標

探究の見方・考え方を働かせ、地域や社会の人、もの、ことに関わる体験活動を含む総合的な学習を通して、自己の在り方生き方を考えながら、自ら課題を発見・解決し、社会に貢献することができる。

II 「総合的な探究の時間」で探究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力

1 知識及び技能	2 思考力、判断力、表現力等	3 学びに向かう力、人間性等
<ul style="list-style-type: none"> 再生可能な取組についての理解を深める、まとめることができる。 本校でできる具体的な取組を調べることができる。 探究での取組について、その意義や価値が、自らの課題解決や成果であると理解することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 再生可能な取組について、解決する具体的な課題に根拠をもって設定し、計画を立案できる。 課題解決に必要な情報を、幅広く収集することができる。 収集した情報を関連付けて整理し、分析することができる。 根拠を示しながら、課題解決に向けた考えを分かりやすくまとめることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> それぞれの強みを生かしながら、課題解決しようとする。 他者と協働しながら、探究課題の解決に向け、積極的に取り組もうとする。 再生可能な取組について、学校の特色を生かしながら、社会参画・貢献しようとする。

III 「総合的な探究の時間」の単元計画の概要

目標を実現するにふさわしい探究課題	イ	持続可能で再生を意識しながら、学校の特色を生かした取組		
単元目標	4 学科協働のカフェ運営を中心に、学校で不要とされる物から課題を把握し、その課題解決に向けての取組の中で、新たな形として再生できる仕組みを検討し、自身の生活と結び付けながら、学校および地域の一員として、自ら社会に参画・貢献することができる資質・能力を育成する。			
月	主な内容		探究の過程	時数
4	昨年度の振り返りと、SDGsに関連した今後の学習を検討		課題の設定	4
5	昨年度の学習からの再生チョークの他、どのような持続可能な取組が考えられるか		情報の収集	2
6	すでに取組んでいる学校や企業を調べて整理する		整理・分析	2
7	再生チョークについて、実際に制作してみる		まとめ・表現	3
8	再生チョークの課題は何か考える		課題の設定	2
9	課題解決のための方法を調べる		情報の収集	2
	収集した情報を元に、試作のための方法を整理する。		整理・分析	2
10	制作した再生チョークについて、利用者の感想から、改善の方向性を見出し、実現する方法や計画を検討する。		まとめ・表現	2
11	学校内やカフェ運営において出る不要物には何があるのかを探り、再生できるものはないかを考える		課題の設定	2
12	課題解決のための方法を調べる		情報の収集	4
1	収集した情報をもとに、外部との連携に向けて整理する		整理・分析	4
2	試作をするとともに、外部に向けて取組を発信する		まとめ・表現	4
3	次年度に向けての課題を検討する		課題検討	2

(注) 1 「目標を実現するにふさわしい探究課題」とは、目標の実現に向けて学校として設定し、生徒が探究に取り組むためのものであり、横断的・総合的な学習としての性格をもち、探究の見方・考え方を働かせて学習することがふさわしい、教育的に価値のある諸課題のこと。
 2 「目標を実現するにふさわしい探究課題」の欄には、探究課題を簡潔に記載するとともに、次のア～オに該当するものの記号を入力すること。
 ア 国際理解、情報、環境、福祉・健康などの現代的な諸課題に対応する横断的・総合的な学習
 イ 地域や学校の特色に応じた課題
 ウ 生徒の興味・関心に基づく課題
 エ 職業や自己の進路に関する課題
 オ その他
 3 「探究の過程」の欄には、「課題の設定」、「情報の収集」、「整理・分析」、「まとめ・表現」のいずれかを入力すること。